

## 【エクアドル経済:2013年11月】

### 1. タメ航空のニューヨーク路線開設

1日、タメ航空は22日よりグアヤキル-キト-ニューヨーク路線を開設し、週6便運航の予定である旨発表した。

22日の就航式典には、ラファエル・フリラス・タメ航空社長をはじめ、政府側からは、ビニシオ・アルバラード観光大臣、アレクシス・メラ大統領府法務局長、マリア・ドウアルデ運輸・公共事業大臣、ナタリー・セリー駐米エクアドル大使が出席した。

### 2. 2014年予算法案

5日、政府は2014年度予算法案を国会に提出し、29日、国会は同予算法案を承認した。歳入総額は、263億1,400万米ドル。歳出総額は、312億3,700万米ドル。保健分野に29億6,000万ドル(前年比20%増)、教育分野に37億2,000万ドル(前年比15.31%増)、公共投資は、72億6,300万ドルにのぼる。

### 3. 欧州連合(EU)による特別特惠関税制度(GSP+)の延長

5日、欧州連合(EU)国際貿易委員会(INTA)は、エクアドルに対する特別特惠関税制度(GSP+)を延長する旨決定した。今後、欧州議会総会の承認を経てエクアドルに対するGSP+の延長が正式に決定される。

エクアドル輸出事業者連盟(FEDEXPOR)は、GSP+が失効すれば輸出業者の損害は20億ドルに達するとの試算をしていた。

### 4. ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)財務大臣会合の開催

29日、キトにおいてラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)財務大臣会合が開催され、ラテンアメリカにおける金融及び経済危機に対応するためのメカニズムの確立及び来年1月にキューバで開催される首脳会合の議題について話し合われた。